

感染症情報 6月17日～23日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,727例(堺市	161例)
②感染性胃腸炎	862例(堺市	86例)
③溶連菌感染症	722例(堺市	82例)
④ヘルパンギーナ	254例(堺市	26例)
⑤咽頭結膜熱	148例(堺市	14例)

府下304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 41例(堺市 3例)

報告数による順位。前週比1.0%減の3,939件であった。手足口病が府下で17%増、堺市で前週150例→今回161例であった。大阪府の定点あたりは7.54→8.81、堺市で7.89→8.47となり、大阪府では10ブロックで警報レベル開始基準値5を超えている。感染性胃腸炎が府下で前週比13%減、堺市で前週85例→今回86例。溶連菌感染症が府下で9%減、堺市で前週105例→今回82例。定点あたり、大阪府が3.68、堺市が4.32であった。ヘルパンギーナが府下で12%増、堺市で23例→26例であった。定点あたり大阪府が1.30、堺市が1.37であった。咽頭結膜熱が府下で16%減、堺市で前週21例→今回14例であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が7週連続で10を超えている。大阪府が16→35例、堺市が2→5例であった。

インフルエンザが府下で前週26例→今回41例で前週比58%増であった。堺市で前週2例→今回3例であった。

府下304医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,001例(堺市 108例)
大阪府定点 3.29 堺市定点 3.72

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
39	57	39	181	103	91	104	115	88	85	99	1,001

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回963例→今回1,001例で6%増、定点あたり3.10→3.29。堺市で前週106例→今回108例は微増、定点あたり3.66→3.72となった。

麻疹や風疹の報告なし。